



〒863-0002 天草市本渡町本戸馬場636  
電話番号 0969-22-3668 FAX番号 0969-24-4393  
電子メールアドレス amakusakaho@pref.kumamoto.lg.jp

## 暑熱ストレスからの回復には秋口の飼養管理が重要です



暑熱ストレス

夏場の暑熱ストレス下において、牛は体温上昇に対する反応として「呼吸数の増加」「飲水量の増加」「飼料摂取量の低下」などにより、体内の熱放散促進と熱生産を減少させ、暑熱ストレスを緩和させます。

夏の終わりから秋にかけては、暑熱ストレスが徐々に緩和されていく時期です。増加した呼吸数や飲水量は気温の低下とともに元の水準に戻りますが、低下してしまった飼料摂取量が戻るには時間がかかります。そのため、秋の飼養管理においても、夏と同様に牛に負担をかけないように飼料摂取量を徐々に増やす必要があります。



呼吸数増加  
飲水量増加  
飼料摂取量低下

- ◆清潔な飼槽・水槽で、新鮮な飼料・水を充分給与する
- ◆飼料の掃き寄せ回数、給与回数を増やす
- ◆品質の良い粗飼料を給与する、または消化の良い繊維を含む飼料を給与する

※配合飼料給与量を増やす場合は、ルーメンアシドーシス等のリスクを避けるため、粗飼料を充分食い込んでいることを確認し、その上で一回の給与量が多くなりすぎないように注意しましょう。

また、これから授精する牛は、分娩前後の時期に暑熱ストレスを受けていることが考えられ、その時の飼料摂取量の低下やホルモンバランスの崩れにより、繁殖サイクルが乱れやすくなっています。

飼料摂取量を回復させる管理と合わせて、いつもより意識して発情発見に取り組みましょう。

毎朝夕、最低30分ずつは発情発見作業に専念する時間をつくり、  
発情徴候の見逃しを防ぎましょう。

# 熊本県黒毛和種雄牛「茂三」が新たに選抜されました！



熊本県黒毛和種雄牛として「茂三」が今年度新たに選抜されました。

本牛は、BMSNo.の育種価が県内1位であった「なお3」に質量兼備の名牛「茂洋」を交配し、畜産研究所で胚移植により作出されました。検定成績では、枝肉重量、ロース芯面積、ばらの厚さ、脂肪交雑が歴代トップクラスです。

但馬系や気高系など各種黒毛和種への交配が可能です。

## 現場後代検定成績

頭数	去勢9頭	雌 5頭
出荷月齢	28.3	28.7
枝肉重量	532.2	485.5
ロース芯面積	71.7	67.6
ばらの厚さ	8.6	8.0
皮下脂肪厚	3.2	3.3
歩留基準値	74.9	74.5
BMSNo.	8.67	7.00
肉質等級 (3等級以上)	88.9% (8/9)	80.0% (4/5)

(単位：kg、cm<sup>2</sup>、cm)

## 産子の枝肉



性別	去勢
枝重	551kg
ロース	75cm <sup>2</sup>
バラ厚	8.7cm
BMSNo.	11
等級	A-5

## 近隣諸国における海外悪性伝染病発生状況

病名	型	発生地(国)	畜種	発生年月日
口蹄疫(FMD)	O型	インドネシア	不明	令和4年
アフリカ豚熱 (ASF)		ロシア(32件)	豚・野生いのしし	令和4年7月25日
		韓国(1件)	豚	令和4年8月18日

令和4年(2022年)9月1日現在

### 通報

家畜の異常を発見された場合はご連絡ください。  
天草家畜保健衛生所 電話番号0969-22-3668

毎月20日は「くまもと家畜防疫の日」

